

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 7月 12日

No.20

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

1学期を振り返り自己評価をしよう！

1学期の始業式で、生徒たちに次のような話をしました。(学校だより No.1 より)

新年度にあたり、みなさんにお願ひがあります。戸町中学校の「校訓」である「自主・友愛・飛躍」の三つの言葉についてです。「校訓」とは飾りではなく、いつも胸に抱き、大切にしたい「目標」だということです。すでに、みなさんは、日頃から「校訓」の意味を理解し、意識しながら、自分のあるべき姿を見つめ、勉強、学校行事、部活動など、様々な学校生活の場面で、地道に努力しています。今年度も、自ら考え判断し、友と協力しながら、夢の実現に向けて、粘り強く取り組んでください。

そこで、戸町中学校の重点目標に照らして、親子で評価し、改善点を検証してみましょう。

保護者の方は、わかる範囲でお子様の頑張りをお印で評価。生徒は、各自で自己評価してください。

後1週間、まだまだ改善のチャンスはあります！

【自主】

- 素直なあいさつができる生徒 ()
- 時と場に応じた言動ができる生徒 ()
- 健やかな体と活力がある生徒 ()
- 見通しを持って計画的に動く生徒 ()
- 積極的に自分の役割を果たす生徒 ()
- 自信を持って課題を解決する生徒 ()

【友愛】

- 自他の生命を大切にする生徒 ()
- 誰にでも心優しく接する生徒 ()
- 言葉を選び、表現できる生徒 ()
- 他の考えや意見を大切にする生徒 ()
- 伝え合い、高め合う生徒 ()
- 協働し、行事に燃える生徒 ()

【飛躍】

- 夢や希望を持ち、努力し続ける生徒 ()
- 適切に自己評価し、改善できる生徒 ()
- 失敗を恐れず、挑戦する生徒 ()
- 次のステップを創造する生徒 ()
- 向上心を持ち、粘り強い生徒 ()
- 地域や母校を愛する生徒 ()

選手達の力強い決意表明！

8日(木)に、見事に市中総体を勝ち抜き、長崎県中総体に出場する選手と長崎県吹奏楽コンクール県南地区大会に出場する吹奏楽部の激励式を実施しました。



【山口生徒会長から激励の言葉】

いよいよ県中総体まで、約2週間になりました。今のみなさんは、さらに良い結果を残すために、今まで以上に必死で練習していると思います。県中総体は市の代表そして参加します。市の代表だというプレッシャーを感じながらのパフォーマンスになると思いますが、今まで練習したことを市中総体でのパフォーマンスを忘れずに頑張ってください。そして、常にゴールを目指して全力を尽くしてください。

【選手代表者決意表明 陸上部：久野くん】

みなさん、こんにちは。県中総体までこられたのは、顧問の先生をはじめ先生方、保護者の方々、そして、みなさんの応援があったからです。県中総体は市中総体より比べものにならない程、レベルが高く、強い人たちが集まってきます。ですが、今までの練習の成果を発揮して、良い成績を残せるように頑張るので、応援をよろしくお願いします。

【吹奏楽部決意表明：古木さん】

みなさん、こんにちは。吹奏楽部部長の古木です。現在、部員38名で様々なイベントや大会に向けて練習しています。私たちは、今月31日に行われる吹奏楽コンクール県南地区大会に出場します。ここには、県南地区から21校が出場し、その中で推薦された6校が、次の県大会へと進むことができます。1年生と2年生は、まだコンクールの舞台に立つことがないので、緊張するところもありますが、そこを3年生がサポートしながら頑張っていきます。戸町中プライド「できる・できる・できる」の信念で、本番ではベストを尽くした演奏をしたいと思っています。応援をよろしくお願いします。

今度は君たちが主役！

7月31日（土）に、諫早文化会館で実施される「長崎県吹奏楽コンクール県南地区大会」に出場する吹奏楽部。これまで、コロナ禍の影響で出場予定だった音楽会や地域行事などが中止となり出場の機会が激減しました。そのような中でも、校内では、入学式や部活動紹介、そして、市中総体激励式などで、いつも、吹奏楽部の演奏で花を添えてくれました。激励式後、全校生徒の前で練習の成果をお披露目する部員たちの姿は、緊張しながらも、顧問の加藤先生のタクトにあわせ、懸命に演奏していました。今度は吹奏楽部が主役です。正々堂々と、演奏を楽しんできてほしいと思います。



心の種

今回のテーマは「校歌斉唱」です。



今回の激励式は、今年度初めて、全校生徒が体育館に集合し、間隔を広くとり、換気を徹底した中で実施しました。

式の冒頭、全校生徒に、「君たちの努力（換気、マスク着用、消毒）のおかげです。」と、感謝の気持ちを伝えました。

激励式の最後に、全校生徒で校歌斉唱をしたのですが、「水上の 清きこの里〜♪」と、歌う姿に私はとても感動し、鳥肌が立ちました。コロナ禍の影響で忘れかけていた生徒たちのあるべき姿の一つ校歌斉唱。体育館に全校生徒の歌声が響くまではいかないまでも、生徒が集い、同じ思いを持って歌うことの素晴らしさを再認識しました。

校内研究授業

本校では、研究テーマ『自分の考えの根拠を明確にして表現する力』の育成のもと、全教職員が研究授業または公開授業を行い、全教科で授業改善に取り組んでいます。

7月は、高比良咲子先生が、1年3組で音楽科の研究授業を行いました。題材名は「日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう」で、「南部牛追唄（岩手県）」「伊勢音頭（三重県）」「ソーラン節（北海道）」の3曲を聞き比べながら、音楽を形づくっている要素が関わりあって民謡独特の雰囲気やそのよさを生み出していることを学びました。

高比良先生は三味線を学んでおり、自前の三味線を持参しての授業で、実物を見たり、実施に三味線や尺八などに触れる生徒たちも興味津々でした。



子どもたちの見守り強化中！



6月28日に千葉県で、下校中の小学生の列に、酒気帯び運転のトラックが突っ込む死傷事故が発生しました。保護者のみなさんも記憶に新しいと思います。本校の周辺は、車幅が狭い箇所や変則的な交差点があります。

先日、登校時に実施しているあいさつ運動で、校門周辺の交通マナーの悪い事案について、交番に相談をしました。現在、定期的に横断歩道周辺で、交通安全と生徒の見守りを行って頂いています。

イノシシの目撃情報

先日から2回にわたり、戸町地区でイノシシの目撃情報があり、保護者のみなさまにも、あんしんメールで情報提供をいたしました。人への被害はありませんでしたが、“猪突猛進”と言うように、人に突進してきたり、場合によっては、噛みついたりします。また、大型の親のイノシシと車が衝突すると、車が大破することもあり非常に危険です。万一、目撃した時には、刺激をしないようにしながら、安全な場所に逃げるようにしましょう。

